



みなさん、こんにちは。夢ふうせんマーレです。
北海道にも短い夏がやってきましたね。慣れない暑さに体調を崩さないよう、気を配って業務に励みたいと思います。

さて、今回の通信では7月のミニ学習会のテーマとしても取り上げられた「**意思決定支援**」について改めてご紹介させていただきます。

意思決定支援とは、本人の代わりに決めるのではなく、本人が決められるように一緒に考え、支えることを指します。

家族や支援者は、つい一番安全や一番無難、一番効果的などの最善策を探してしまいがちですが、意思決定支援で何より大切にしたいことは、**本人の意思と選択を尊重**し、その人らしさに合った選択を支えることです。

意思決定支援のポイント

プロセス：たくさんの歯車をかみあわせる



本人には「意思」があり、決める力があるという前提に立ち、かかわりのなかで、その意思を尊重して支えていく。

意思決定支援の段階的プロセス

- ① 意思の兆候を観察する
- ② 気持ちを言語化し確認する
- ③ 選択肢を提示する
- ④ 考える時間を確保する
- ⑤ 本人の意思を反映する
- ⑥ 結果を振り返り次に生かす

意思決定支援では、本人との関係性を築くことが土台になると考えます。
良い関係性がなければ本人の意思を聞くことはできません。
夢ふうせんマーレでは、本人の意思を大切にするためにも、信頼関係の構築を最重点項目としています。

(株)エムリンクホールディングス 紋別市障害者就労支援事業受託事業所



TEL 0158-28-6222 FAX 0158-28-6225
E-mail mar@emlink.co.jp URL <https://yumefusen-mar.com/>

